

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○青少年や障害者等の文化活動の活性化
主な取組	文化振興事業費		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・ 中学校・高等学校の総合文化祭への支援や中学校・高等学校生徒の派遣費支援のほか、こころの芸術・文化フェスティバル、身体障害者福祉展等の開催を通して、青少年や障害者等の文化活動の活性化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国内有数の芸術団体による舞台芸術鑑賞機会を県内へき地・離島の児童・生徒に提供する。校区や地域、広くは県内・県外に在住する芸術家や技能保持者等を学校に派遣する。	国,県	児童生徒に対する芸術鑑賞機会の提供		
		芸術鑑賞実施校数(累計)		
		70校	70校(140校)	70校(210校)
担当部課【連絡先】	教育庁文化財課		【 098-866-2731 】	関連URL
				—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

沖縄県芸術鑑賞機会提供事業

主な財源

実施方法

R5年度
決算額

R6年度
決算見込額

県単等

委託

588

409

令和6年度活動内容

文化庁による鑑賞機会提供事業を実施した。また、県事業において、渡嘉敷村で音楽鑑賞会を実施した。

予算事業名

沖縄県芸術鑑賞機会提供事業

R7年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

686

令和7年度活動計画

文化庁による鑑賞機会提供事業を実施予定。また、県事業において、離島・へき地での公演を実施予定。

活動指標名

芸術鑑賞実施校数（累計）

R4年度

R5年度

実績値

116校

84校

R6年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

39校

70校 (210校)

55.7%

進捗状況

大幅遅れ

活動概要

文化庁、県、市町村との共催により芸術鑑賞やワークショップ等を実施した。また、離島・へき地の児童生徒に芸術鑑賞提供するため、音楽鑑賞会を渡嘉敷村立渡嘉敷小学校・渡嘉敷中学校において実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

当該市町村教育委員会との連携を図り、本事業を周知した。令和6年度の実績値が前年度と比較すると減少しているが、文化庁主催の芸術鑑賞機会提供事業の基準において「過去2年間に採択された学校の優先順位は低くなる」ことから、令和4、5年度に採択された学校が不採択になっていることが実績値減少の一因と考えられる。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案

○学校行事や教育課程との関連性もたせ、市町村教育委員会や学校との連携を強化する。
○県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、学校が希望する日程やニーズに対応できるように支援する。

反映状況

○芸術鑑賞機会提供事業に応募数の少ない市町村に対して、応募を呼びかけた。
○離島・へき地において、芸術鑑賞機会提供事業の実施を希望する教育委員会、小中学校と連携し、日程調整をすすめた。芸術団体を派遣することで、小中学生が直接、演奏を聴いたり楽器に触れたりできるよう支援を行った。

- 2 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	本県は、学力向上対策が最重要課題であるため、各学校とも授業時数の確保等が優先される傾向が見られることから、芸術鑑賞を実施するにあたり早期の日程調整が必要である。	② 連携の強化・改善	学校行事や教育課程との関連性もたせ、市町村教育委員会や学校との連携を強化する。
② 他の実施主体の状況（内部要因）	他県に比べても離島が多いことなどから、準備に要する時間や移動時間がかかるため開催回数が限られ、芸術文化に触れる機会がまだまだ足りない。	⑤ 情報発信等の強化・改善	過去、県内での実施実績のある芸術団体・個人に働きかけ、学校が希望する日程やニーズに対応できるように支援する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	1-(4)-イ	文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	施 策	②県民等の文化芸術活動の充実
			施策の小項目名	○青少年や障害者等の文化活動の活性化
主な取組	青少年文化活動事業費		対応する成果指標	国立劇場おきなわの入場者数
施策の方向	・ 中学校・高等学校の総合文化祭への支援や中学校・高等学校生徒の派遣費支援のほか、こころの芸術・文化フェスティバル、身体障害者福祉展等の開催を通して、青少年や障害者等の文化活動の活性化に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
本県の中学校や高校の総合文化祭への大会運営費補助や、高等学校文化連盟が行う派遣費助成への補助を行うことで、文化活動の発表の場を確保するとともに、各分野の技術向上と充実を図ることを目的とする。	県	中学校・高等学校生徒の大会派遣費補助		
		中学校・高等学校生徒の大会派遣費補助人数(累計)		
		2,000人	2,000人(4,000人)	2,000人(6,000人)
担当部課【連絡先】	教育庁文化財課	【 098-866-2731 】	関連URL	https://www.okikoubunren.com/ 、 http://o-chubun.chu.jp/

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		青少年文化活動事業費			予算事業名		青少年文化活動事業費	
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額		R7年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	補助	15, 827	15, 709		県単等	補助	15, 894	
令和6年度活動内容					令和7年度活動計画			
県中学校文化連盟・県高等学校文化連盟への補助金を通して、生徒の文化活動を支援した。					県中学校文化連盟・県高等学校文化連盟への補助金を通して、生徒の文化活動を支援する。また、総合開会式参観など、各文化連盟と調整し連携を図る。			

活動指標名	中学校・高等学校生徒の大会派遣費補助人数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	1, 743人	1, 929人	1, 995人	2, 000人（6, 000人）	99. 8%	順調	文化活動の発表の場を確保するとともに各分野の技術向上を図るため、県中文化連及び県高文化連の強化費、大会運営費、派遣費に関する補助を行った。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
県外大会や県内大会への離島生徒の大会派遣費の補助について継続的な支援を行った。年々、県内外大会への派遣補助人数が増えており、目標値に限りなく近づいている。							

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
・ 県内外大会への参加者の経済的負担を減らすため、各文化連盟と連携し、吹奏楽部門や郷土芸能部門等の楽器や小道具等の運搬費補助について支援を行えるよう協議する。 ・ 離島の部活動生の経済的負担を軽減するため、クラウドファンディングを実施し、大会派遣費補助を拡充する。	・ 県中学校総合文化祭総合開会式への参加において、楽器や小道具等の運搬の補助支援を県中学校文化連盟を介して行った。 ・ 令和6年度にクラウドファンディングで集まった支援金を、離島の部活動生の派遣費補助に充て、経済的負担を軽減を図った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	離島の部活生が県内外大会に参加する際、航空機や船等の利用が必須のため、保護者の経済的負担が大きい。	② 連携の強化・改善	令和6年度にクラウドファンディングで集まった支援金を、離島の部活動生の派遣費補助に充て、経済的負担を軽減する。